

〇〇〇〇工学科第4学年 出席番号〇〇番 氏名 〇 〇 〇 〇

実習先・組織名 〇〇株式会社

実 習 期 間 平成〇〇年〇月〇〇日 ~ 〇月〇〇日 (実働〇〇日)

実 習 テ ー マ

1. 実習の概要 (MSゴシック,10.5pt)

ここでは、実習の内容（場合によっては企業・機関の説明も含む）の概要を述べる。併せて、場所、規模、作業目的などについても説明する。

章の見出し以外の文章はすべてMS明朝,10.5ptで記述すること

2. 実習内容

ここでは、実際に行った実習の内容を説明する。たくさんの異なる内容の場合には、下記例（1）～（3）のように項目毎に記載するのが良い。具体的な実習成果（製作物、学習成果、作成した図面、測量結果、実験結果など）は**3. 実習成果**で述べるようにする。

（1）実習項目 A（〇月〇〇日～〇月〇〇日）

（2）実習項目 B（〇月〇〇日～〇月〇〇日）

（3）実習項目 C（〇月〇〇日～〇月〇〇日）

3. 実習成果

（1）技術

ここでは、実習により得られた成果の内容を説明する。必ず技術的な内容について記述すること。たくさんの異なる事項がある場合には、本例のように項目毎に記載するのが良い。具体的な実習成果を、得られた図や画像、作業データ結果などに基づいて説明する。また、当該企業で勉強したことに関する記載でもよい。図、表、写真を用いる場合には、表題を付けること。（企業秘密に注意）

（2）社会人としての心構え

ここでは、社会人として必要な心構えについて実習体験を通じて学んだことを記述する。
(大学等で実習を行った場合には、大学生として必要な心構えについて実習体験を通じて学んだことを記述する。)

(3) 社会に貢献する意義

ここでは、実習体験を通じて見出した技術者が社会に貢献する意義について記述する。
(大学等で実習を行った場合には、実習体験を通じて見出した研究者が社会に貢献する意義について記述する。)

4. 今後の抱負

今後の抱負（単なる感想ではない。実習により何を得て、今後どのように生かすのか）を具体的に記入する。例えば、実習で得られた事柄について説明し、具体的に進路にどう活かせるか、今後の学生生活にどう活かせるかを具体的に説明する。